

西富野の堤防のそばに極楽寺と言うお寺があります。

このお寺を見ますと、西富野の遊び場になっていきます。

野にあったお寺の百年の移りかわりを知ることが出来ます。

このお寺は西富野の公会堂のそばにあって、今は空地で子供の遊び場になっていきます。それは、太平洋戦争で住職が

極楽寺の門の右側に安置さ

れているのが、天神社（今は

荒見神社と言っています）が、

明治二十一年までは富野村天

神社と言っていました）にま

つってあった仏像です。

江戸時代にはお寺と一緒に

天神社がありました。明治

元年から神社を残してお寺を

壊してしまいました。

その時の仏像が極楽寺に移

されたのです。

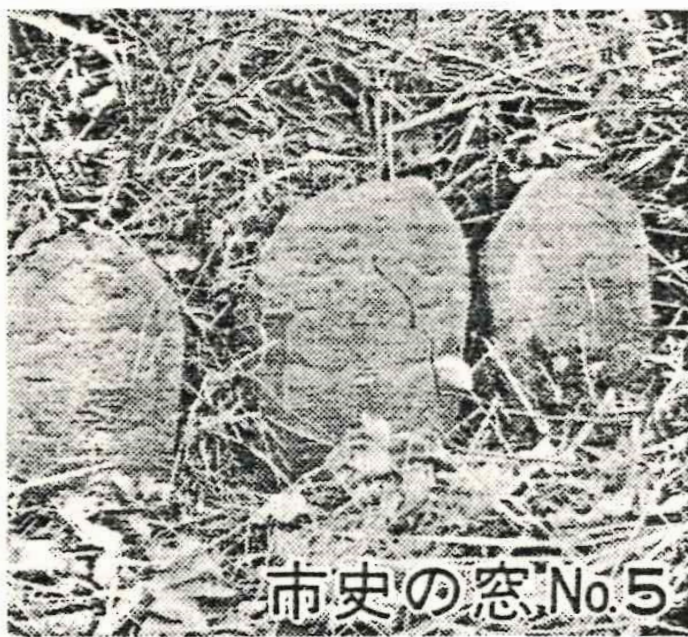
更に門を入ると、左側に小

さな地藏堂があります。

これは西照寺と言うお寺の

境内にあったものです。

百年にみる西富野の寺々



今も昔の極楽寺を語る石碑

出征し、以後、極楽寺が管理してききましたが、第二室戸台風で建物危険になったため、仏像を極楽寺に移し解体してしまいました。

始末をしてきた極楽寺も、元から今の所にあつたのではないのです。少し東にいった堤防のそばに草葺ではありますが、本堂と庫裡（くり）が別棟になって

いて三百八十五坪の境内をもつ大きなお寺でした。その頃、西隣りに西方寺と云うお寺がありまして、壇家も少なく住職もない有様でしたから極楽寺に合併して西方寺はなくなりました。しかし、建物は西方寺の方立派でしたから、明治十二年九月に極楽寺が西方寺に引越して今の極楽寺になったのです。

翌年、住職と壇徒が相談のすえ、元極楽寺の建物を処分し、当時のお金で九十三円二十銭と記録に残されています。今、元極楽寺の面影を伝えるものとしては、富野南垣内五十二番地の堤防の一隅に、小さな三体の石碑が草にかくれて並んでいるだけです。